

登録コード	A3593329	開講年度	2026				
授業科目	専攻演習				担当教員	高木 優二	
英文授業名	Selected Seminar						
単位数	1	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	動物生殖学研究室所属の4年生
講義室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	教員内線電話:2404（研究室名：動物生殖学）
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している				動物生殖学に関する英語論文を理解することができる。		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				動物生殖学に関する英語論文を理解することができる。		
	2 0 2 6 A3 編（24A），2 0 2 5 A3 編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				動物生殖学に関する英語論文を理解することができる。		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				動物生殖学に関する英語論文を理解することができる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	自身の研究テーマに関連した最新のトピックスを踏まえ、原著論文を調査し、スライドを用いたプレゼンテーションにより論文ゼミを行う。						
(5)授業計画	1-9. 文献の調査と講読 10-14. プレゼンテーションの準備と発表 15. 発表と討議						
(6)自主学習の指針	日々自身の研究キーワードに関する文献調査を行い、最新の研究情報の取得に努めること。						
(7)成績評価の基準	英語で書かれた原著論文を読み解き、スライドと資料を用いて他者に説明ができるようになることを合格（可C）基準とします。さらに、研究課題の歴史的背景と応用展開までを他者に説明できるようになるレベルを以下の基準に照らし合わせて成績評価を行います。 秀S:授業の達成目標の水準から見て卓越している 優A:授業の達成目標の水準よりかなり上にある 良B:授業の達成目標の水準よりやや上にある 可C:授業の達成目標の水準にある						
(8)事前事後学習の内容	なし						
(9)テストやレポートの予定	なし						
(10)成績評価の方法	日々の文献調査状況等について教員と面談し、また研究室内における定期的なプレゼンテーションと質疑について点数化し、5段階で評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時、担当教員に直接相談するか、メールにて受け付けます。 メールアドレス：ytakagi@shinshu-u.ac.jp						
(12)履修上の注意	教員との日常的にコミュニケーションを取る姿勢で臨んで下さい。						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	なし						